

JIS

溶射用粉末材料

JIS H 8260 : 2007

(JTSS/JSA)

平成 19 年 12 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神 尾 彰 彦	東京工業大学名誉教授
(委員)	碓 井 栄 喜	社団法人軽金属学会 (株式会社神戸製鋼所)
	木 股 隆 三	株式会社ビスキャス
	小 出 正 登	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	齋 藤 鐵 哉	独立行政法人物質・材料研究機構
	下 村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	田 村 泰 夫	日本鋳業協会
	中 野 利 彦	株式会社神戸製鋼所
	中 村 守	独立行政法人産業技術総合研究所
	西 村 尚	東京都立大学名誉教授
	馬 場 孝 三	住友金属鋁山株式会社
	林 央	社団法人日本アルミニウム協会 (独立行政法人理化学研究所)
	矢 萩 強 志	財団法人日本船舶技術研究協会
(専門委員)	福 永 敬 一	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.12.20

官 報 公 示：平成 19.12.20

原 案 作 成 者：日本溶射協会

(〒577-0809 大阪府東大阪市永和 2-2-29 永和ビル 1 号館 TEL 06-6722-0096)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び化学成分	1
5 化学成分の分析試験及び物理的性質の測定	12
5.1 溶射材料の試験・測定項目	12
5.2 試料の採取	12
5.3 化学成分の分析試験	13
5.4 粒度の測定	13
5.5 粒子形状の測定	13
5.6 見掛け密度の測定	13
5.7 流動性の測定	13
5.8 微細構造の測定	13
5.9 結晶構造の測定・分析	13
5.10 熔融温度の測定	13
6 溶射材料の表示方法	14
7 出荷状態	14
8 試験報告書	14
附属書 A (参考) 溶射用粉末材料の粒子形状 (SEM 像) と製造方法との関係	15
附属書 JA (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	19
解 説	21

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本溶射協会(JTSS)及び財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

溶射用粉末材料

Powders for thermal spraying

序文

この規格は、2000年に第1版として発行されたISO 14232を基に作成した日本工業規格であるが、材料の成分などの細かい数値が異なるため、部分的に技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、溶射用粉末材料（以下、溶射材料という。）の化学成分及び物理的性質について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14232:2000, Thermal spraying—Powders—Composition and technical supply conditions (MOD)

なお、対応の程度を表す記号 (MOD) は、ISO/IEC Guide 21に基づき、修正していることを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS H 8200 溶射用語

JIS Z 2500 粉末や（冶）金用語

JIS Z 2502 金属粉—流動性試験方法

注記 対応国際規格：ISO 4490, Metallic powders—Determination of flow time by means of a calibrated funnel (Hall flowmeter) (MOD)

JIS Z 2503 粉末や（冶）金用金属粉—試料採取方法

注記 対応国際規格：ISO 3954, Powders for powder metallurgical purposes—Sampling (IDT)

JIS Z 2504 金属粉—見掛密度試験方法

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS Z 2503、JIS Z 2500 及び JIS H 8200 による。

4 種類及び化学成分

溶射材料の種類及び化学成分は、次による。

a) **金属粉末** 金属粉末の種類は、コード番号及び記号によって、表1のように区分する。